



2022年2月10日

各位

会社名 nms ホールディングス株式会社

代表者名 代表取締役社長 小野 文明

(コード：2162 東証 JASDAQ)

問合せ先 常務取締役コーポレート本部長 河野寿子

(TEL：03-5333-1711 (代表))

2022年3月期通期連結業績予想の修正および特別損失計上に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2021年5月14日公表の2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）通期業績予想を下記のとおり修正いたします。また、2022年3月期第3四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年12月31日）における特別損失の計上について、併せてお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 69,000	百万円 1,200	百万円 1,200	百万円 600	円 銭 △36.01
今回修正予想 (B)	63,600	△440	△50	△735	△44.98
増減額 (B-A)	△5,400	△1,640	△1,250	△1,335	
増減率 (%)	△7.8%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	54,856	689	158	△735	△44.12

2. 通期業績予想修正の理由

第2四半期以降、お客様からの引き合いや需要が強い状況が続いているものの、EMS事業およびPS事業における、部材不足に起因する影響が顕著となり、自社への直接影響だけでなく、国内外のお客様の減産や稼働停止、生産計画後ろ倒し等による大幅な生産減に加え、需給ひっ迫を背景とした原材料・副資材の価格高騰や物流コストの上昇が継続している状況です。加えて、当社グループ進出国・地域において、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の再拡大による、想定を上回る規模でのロックダウンが断続的に発生しており、お客様やサプライヤーの稼働停止、人の往来制限による事業の停滞など、すべての事業において売上・利益への影響を余儀なくされています。

この状況に対し、グループ全体で徹底した固定費削減策を実行しているものの、部材不足および感染症拡大による影響を補うことは難しく、営業損失計上を余儀なくされる見込みです。経常利益、当期純利益につきましても、営業損失計上による影響が大きく、また、新型コロナウイルス感染症関連損失ならびに基盤強化を目的とした事業構造改革費用等の特別損失の計上もあり、前回発表予想を修正いたします。

3. 特別損失の計上

当第3四半期連結会計期間（2021年10月1日～2021年12月31日）において、新型コロナウイルス感染症関連損失（86百万円）を計上しました。これにより、2022年3月期第3四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年12月31日）の新型コロナウイルス感染症関連損失計上額は148百万円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間における事業構造改革費用163百万円は、2021年7月13日公表のとおり、当第1四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年6月30日）において、EMS事業拠点TKR USA, Inc.（米国）、TKR de Mexico S.A. de C.V.（メキシコ）の賃金改定および再雇用施策の実行に伴う退職補償金を計上したことによるものです。

4. 各事業の動向・取り組み

先行き不透明な事業環境は続いているものの、各事業とも2022年度から始まる新規受注や量産プログラムの立ち上げ等、需要は旺盛な状況が続いています。部材不足の解消には一定の期間を要すると見ているものの、2022年夏頃から順次生産量は増加していく様相であり、お客様との擦り合わせを行いながら、各事業とも部材不足解消時および次年度につながる取り組みを進めています。

<p>H S 事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 製造業のファブレス化、ものづくり高度化に貢献する「製造DX」の構築を推進 2022年1月、「DX推進室」を設置、専門人材による推進部門を軸にその取り組みを加速 ● 住友商事と業務提携、製造業の海外進出・製造支援サービス事業を拡大 住友商事と業務提携、ベトナム・タンロン工業団地でワンストップサービスを提供、人材ソリューション+製造支援でお客様の安定した生産サポートを展開（2021年9月6日公表） ● 高度人材の育成・派遣、海外市場への展開 エンジニア人材の採用・育成プログラムの強化、ジョブグレードアップ制度の高度化 タイ・レムチャバン工科大学と「職業教育訓練制度」協力に合意（2021年10月14日公表） 今後もASEANの各大学との連携を推進中
<p>EMS 事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ベトナム拠点（TKR MANUFACTURING VIETNAM CO., LTD.）の生産立ち上げ 新規品生産立ち上げを開始、車載用ワイヤレス充電器関連やAV・音響機器関連など、プレス技術を核に完成品まで生産できる特長を活かし、ベトナムへ生産移管を進める日系企業のニーズに対応 ● メキシコ拠点（TKR de México S.A. de C.V.）の受注再開、新規量産プログラムの準備開始 部材不足や感染症影響で生産計画が後ろ倒しになっていたお客様からの受注再開、2022年夏から新規量産プログラムの開始を計画、主軸の車載関連部品に加え、家電や工具、産業機器など、幅広い分野の基板実装ビジネスを北中米で展開
<p>P S 事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 産業機器市場への製品展開、新規顧客の獲得・拡販を加速 省人化・自動化ニーズによるロボティクス市場の拡大や、感染症対策を背景とした、殺菌・滅菌機器市場への製品展開を実行、新たな市場を開拓 ● 電池パック技術を横展開、新分野需要へ対応 安心安全の電源設計技術と蓄電・充電技術・ノウハウを活かしターゲット分野を拡大 建機・農機の電動化ニーズによる需要拡大など、新分野開拓を推進

以上

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいているものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。